

渡辺 佐世保の自社2工場で クロス 子会社通じ保育所へ プラス

名古屋の繊維企業が「マスク」生産販売

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、名古屋の繊維企業がマスクの生産・販売に乗り出している。婦人下着メーカーの渡辺商店（本社名古屋市中区丸の内、渡邊敬一最高経営責任者、電話052・211・0500）は、農林水産省と佐世保市の2工場から布マスクを製造。佐世保市内の企業などに販売している。婦人アパレルのクロスプラス（本社名古屋市中区、山本大真社長）は、子会社のティスカパリープラス（本社東京）を通じて、児童福祉施設や高齢者施設などに不織布マスクの注文販売を始めた。

社会貢献で存在感アピール

「コロナ禍は負けるな!!」



渡辺商店は、抗菌・防臭性がある下着用綿100%素材を使用したマスク「ボディフィルターマスク」を開発。蒸れにくく肌に優しい上に、洗濯して繰り返し使えるのが特徴だ。男女兼用サイズ7色を展開する。

価格は一枚1080円（税別）市場とヤフーショッピングの自社店舗「サブローザ」で販売している。送料は無料。これまでには累計約5万枚を販売した。渡辺社長は



下着の素材や技術を生かした渡辺商店のマスク

宮崎陽平 公認会計士・税理士事務所

名古屋市中区新栄3-8-31宮崎ビル
TEL:052-252-8201 FAX:052-252-8204
E-mail:info@miyazaki-cpa.com

「利益はほとんどないが、これも社会貢献だ」と強い意気込みを語る。

またクロスプラスは、中国にある取引工場の協力で、中国政府認定のマスク専用工場から、不織布マスクの調達ルートを確保した。同社によると「緊急対策



2020年(令和2年)
4月6日
月曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区
名駅4-4-10

編集局 052(561)5212
読者開拓局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2020

購読のお申し込み
0120・605・123